

慶祝

おめでとうございます
心より祝福いたします

平成25年8月度
厚生労働大臣感謝状

(敬称略)

◎民生児童委員 吉田 孝導 (宮田)
◎民生児童委員 吉田 孝導 (宮田)

◎奉仕功労 太田 昭夫 (南中町)
◎奉仕功労 高橋 重治 (川口境)

◎民生児童委員 佐々木洋吉 (共和町)
◎民生児童委員 佐々木正次 (城南町)

◎ボランティア 佐々木優子 (太田町)
◎ボランティア 小松 勇 (石塚町)

◎民生児童委員 鈴木 夏代 (寺小路)
◎民生児童委員 澤井恵理子 (築地)

◎住民活動 佐藤 敏勝 (太田町)
◎住民活動 藤原 博子 (愛宕下)

◎緑化功労 西山 一郎 (南中町)
◎緑化功労 一関 鉄雄 (宮田)

会務報告

平成25年8月～26年2月

8月7日 地区敬老会該当者に案内案内及び、市社協だより第57号を民生委員、町内会長を介して全世帯に配布

8月10日 第2回グラウンドゴルフ大会を友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

9月1日 築山社協だより第44号を発行し、民生委員、町内会長を介して全世帯に配布。社協役員、民生委員に敬老会のお手伝いを依頼

9月14日 敬老会該当者全員に町内会長の手を借り、フェースタル(綿とガーゼ)の記念品と敬老会名簿を配布
9月16日 社協役員、民生委員の手を借りて地区敬老会式典及び祝賀会の準備
9月17日 恒例の地区敬老会を榊山コミセンで開催
9月24日 市社協会費(112万3920円、3、122世帯)を納入
9月28日 第3回グラウンドゴルフ大会を友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施
10月1日 赤い羽根共同募金運動推進
10月16日 市社会福祉大会へ参加 佐々木洋吉副会長が感謝状(民生委員・児童委員)、佐々木優子氏がボランティア功労表彰
10月24日 県民会館で行われた秋田県社会福祉大会へ参加
10月31日 第4回グラウンドゴルフ大会を太山山グラウンドゴルフ場で実施
11月11日 榊山コミセンでボール送りや玉入れなどの軽スポーツ大会と地域防災講話会を開催
11月21日 第一会館で秋田市七地区研修交流会を開催
12月1日 歳末たすけあい募金運動の推進
12月19日 地区内3保育園に子育て支援金を補助
12月25日 市社協だより第58号を民生委員町内会長を介して全世帯に配布
12月26日 地区配分会を開催し、歳末たすけあい募金運動の善意を、地域内要援護世帯や母子家庭などに、一律5千円を民生委員を介して配布
近隣の福祉施設(3施設)に、りんご、みかんを贈呈(3面参照)
1月8日 歳末たすけあい募金の協力で、ひとり暮らし、高齢者のみの世帯とねたり老人にお茶を持参し、安否確認を兼ねた激励訪問を民生委員などの協力を得て実施(3面参照)
1月25日 榊山コミセンで、災害対策基本条例に伴う地域情報の提供について説明会を開催
2月20日 地域福祉活動合同研修会へ参加・事務担当者研修会へ参加(市文化会館)
2月24日 「幼児と高齢者の集い」を民生児童委員と役員の協力を得て榊山コミセンで実施

地区への「ご芳志」

(平成25年3月～平成26年2月)

○ご香典返し

- 5万円 (亡夫 三夫さん) 榊山南中町 加藤千代子 様
- 3万円 (亡妻 協子さん) 南通築地 中川 巖 様
- 3万円 (亡父 峰彦さん) 榊山川口境 青山 貞紀 様
- 1万円 (亡夫 繁さん) 榊山太田町 石郷岡夕キ子 様

○篤志

- 2万円 榊山南中町 加藤 俊悦 様
- 1万円 川元むつみ町 廣島ふとん店様
- 5千円 南通みその町 高桑 博 様
- 5千円 榊山太田町 佐藤 政子 様
- 雑巾200枚 榊山太田町 佐々木優子 様

たくさんのご寄付をいただき厚く御礼を申し上げます。皆様の善意を地域の福祉に役立たせていただきます。ご香典返し、篤志寄付は皆さんが住みの当地区社協にご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

謹んで哀悼の意を表します

築山地区社会福祉協議会
監事 石郷岡 繁殿

平成25年11月28日死去・75歳

社協の定期総会開催予告
26年度の築山社協の定期総会は次のとおり開催します。
日時 4月26日(土)午後2時
場所 榊山コミュニティセンター1場

編集後記

昨年12月、ある中央紙に新潟市が民生委員の活動を助ける「協力員」の制度紹介記事が掲載され、メモリーに残っていた▼この協力員は1年前から設定され、委員が希望すれば置くことができ、活動費として月1千円が出る。事例としてある女性委員は、前任の委員にサポート役の協力員を頼み、新旧コンビを組んでの見守り活動。1人暮らしの男性宅を訪問する時も2人なら心強いらしい▼また今回退任する委員の後任は協力員を務めた方で、引き継ぎもスムーズだった。委員と協力員のコンビは、男性と女性の場合もあるが、居住地域が異なるケースも▼翻って当築山社協にも配置趣旨が異なるが福祉協力員制度がある。委員との連携は、お互いの信頼関係が肝要となる。かく申す編集者は、民生委員現役当時、担当区の福祉協力員に、局面でお世話になったことをつけ加えたい。(北條 晃)

編集委員 北條 晃
加藤 俊悦
榊山 久孝
榊山 久孝
連絡先(事務局) 榊山 久孝

築山社協だより

第45号

平成26年3月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦
(題字：茂林 憲子)

祝

昨平成25年11月1日。地区のシンボル・秋田市立築山小学校は創立130周年の節目となった。明治16年11月1日、前身たる築地学校と榊山学校の併合により創設され、文武両道の歴史を重ねて来た。校庭では全校児童、教職員の人文字による校章をあしらい、メモリアルを飾った写真提供 築山小学校



130周年を迎えた秋田市立築山小学校(榊山古川新町)



「東京物語」にみる家族の絆

築山地区社会福祉協議会
会長 加藤 俊悦

今から61年前の昭和28年に公開された小津安二郎監督の『東京物語』は、昨年の英国映画専門誌『サイト・アンド・サウンド』で、世界358名の映画監督で選ぶ『世界映画史上ベスト作品』に輝きました。本作品を過去にご覧になった方も多々ありますが、改めて鑑賞すると、今日の家族関係の諸問題を浮き彫りにさせています。核家族化による親子関係、高齢化社会における夫婦関係、隣家との接点などが、笠智衆と東山千栄子が演ずる老夫婦とその息子や娘との繋がりを通して淡々と描かれました。

物語は、尾道在住の老夫婦が、内科医の長男と美容院経営の長女を訪ねるため、上京の旅支度を始める場面から始まる。隣家のおばさんが顔を覗かせ、「お楽しみですか。東京じゃ皆さんお待ちかねですよ。立派な息子さんや娘さんがいなさって結構ですな。本当にお幸せでさ」と。

長男は父母を都内観光に連れて行く予定だったが、急患が入り頓挫。仕事に追われる長女は、戦死した次男の嫁に父母の東京案内を電話で懇願する。会社員であるその嫁は、休暇までとって義父義母

を都内見学に案内する。まだ東京に滞在したい二人である。しかし、長男と長女は申し合わせて、父母に熱海の旅館の宿泊券を差し上げるのである。(以下略)
老婦は、少し頑固な亭主に對しても、常にそばに寄り添っていた。長年苦業を共にしてきた絆を、二人の背中から感じさせます。まさに理想の夫婦として描かれているようです。やがて、妻の死が静かに訪れます。老夫婦宅には独身の次女も同居していますが、小学校教師のため、日中は老々世帯同然です。そこで、物語の冒頭と終末に顔を見せる隣家のおばさんの存在感も大きな意味をもちます。
この物語では、家族意識の喪失や高齢化社会への予兆が描かれていると指摘する評論があります。また、やがて来る核家族化の進行による、子供の自立と親の子離れという問題も先取りしています。
この映画は、家族の有り様を様々な角度から深く考えさせてくれます。是非、ご家族の皆さんで改めてじっくり鑑賞していただきたいと思えます。因みに、「秋田市社会福祉協議会」が設立された年に、この映画が公開されました。

平成25年度各種募金運動実績及び社協会費納入報告書

町内会・各学園等、皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます。

単位：円

No	町内会名	日赤社資	赤い羽根	歳末募金	社協会費	No	町内会名	日赤社資	赤い羽根	歳末募金	社協会費
1	宮田	51,000	68,000	18,200	50,400	39	登町東部	20,000	46,000	7,150	19,800
2	JR宮田自治会北	10,000	24,000	10,400	8,000	40	登町中央部平和会	10,000	21,000	4,290	12,240
3	イーストハイム宮田	10,000	33,000	7,150	19,800	41	登町西部	24,000	28,000	6,000	16,560
4	築地北町	18,300	15,400	3,120	9,000	42	亀ノ丁栄町	7,500	17,000	2,500	5,400
5	築地東上町	16,500	17,600	3,770	10,440	43	鯛刺町	28,000	33,000	10,000	28,800
6	築地窪町	14,000	16,200	2,210	6,120	44	九郎兵衛殿町	35,000	34,200	6,500	16,920
7	築地上本町	26,500	51,000	6,500	19,080	45	笹町	24,000	23,000	7,800	21,600
8	築地下本町	24,500	19,200	4,290	14,040	46	三枚橋町	43,200	56,200	9,360	25,920
9	築地中町	11,000	11,000	5,000	18,000	47	愛宕下東丁	8,500	13,200	2,210	6,120
10	築地西町	9,000	14,200	2,210	6,480	48	愛宕下西丁親交会	23,000	29,200	5,480	15,480
11	築地睦会	6,500	8,600	1,430	3,600	49	愛宕下南丁	10,500	12,600	2,730	7,560
12	榎山本新町上丁	14,100	20,000	5,070	14,040	50	愛宕下北丁	20,500	27,200	5,460	14,760
13	榎山本新町下丁	25,000	31,000	5,600	14,400	51	愛宕下中丁	16,500	19,600	4,030	11,160
14	榎山上本町	10,000	23,000	5,000	6,000	52	城南町	28,800	37,800	7,930	23,040
15	榎山本横町	8,000	17,000	3,000	8,280	53	金照寺山	15,500	11,000	10,000	12,600
16	内木町	16,000	16,500	4,290	11,160	54	榎山寺小路北部	11,200	9,700	0	13,320
17	榎山本町下丁	10,500	12,600	2,730	7,560	55	榎山寺小路南部	13,000	10,000	5,000	12,960
18	榎山古川新町	12,000	79,000	20,000	46,800	56	城南みなみ	9,000	26,000	5,000	10,400
19	百石橋通り	15,500	13,000	2,500	8,280	57	榎山石塚谷地	6,000	24,000	6,000	14,400
20	柘取町親睦会	10,500	20,000	5,000	9,000	58	榎山(大元町)	75,000	97,000	25,000	36,000
21	末無町	25,700	32,800	9,880	28,440	59	榎山石塚町	34,000	37,000	12,090	32,400
22	医王院前町	21,150	23,700	5,850	16,920	60	榎山石塚新町	55,500	50,000	20,000	57,600
23	榎山広小路	12,250	9,600	3,120	7,560	61	太田町本町	17,500	17,700	4,030	11,440
24	榎山虎ノ口新町	22,000	27,000	9,100	25,000	62	太田町山水会	18,500	27,600	4,030	11,160
25	南新町	85,000	85,000	24,700	61,200	63	太田町東部	7,000	15,000	3,900	10,800
26	森林管理局第一	12,000	14,400	3,120	8,640	64	太田町睦会	4,000	7,200	1,560	4,320
27	太平	9,500	11,400	2,470	6,840	65	太田町栄町	9,000	10,800	2,340	6,480
28	牛島橋通町	7,080	43,400	7,670	21,240	66	太田町南町	13,500	19,200	3,510	9,720
29	牛島橋通り南部	14,500	17,400	3,770	10,440	67	太田町新町	14,000	24,000	3,900	10,800
30	榎山共和町	5,000	6,000	1,300	3,600	68	太田町旭町	10,000	13,800	2,340	6,480
31	榎山下浜町	33,000	42,800	8,060	22,680		町内会合計	1,316,780	1,847,900	433,940	1,123,920
32	川口境西部	15,500	24,500	4,030	11,160		日赤奉仕団築山分区	10,000			
33	登町南部	50,000	62,800	12,740	36,000		秋田南中学校生徒会		11,755		
34	川口境東部	33,500	44,800	10,000	26,640		築山小学校児童会		9,690		
35	若草団地	10,000	52,200	13,000	39,600		城南園		6,132		
36	入川橋	12,000	13,800	2,990	8,640		グランドゴルフ友の会		26,000		
37	十軒町	9,500	17,400	2,470	6,840		その他	30,000	268		
38	米沢町	8,000	10,600	2,080	5,760		総計	1,356,780	1,901,745	433,940	1,123,920

敬老会出席者「おもてなし」に魅了



築山小学校竿燈クラブの熱演、妙技を見守る参会者



フラダンスを踊る「プルメリア」の皆さん

25年度地区敬老会

25年度築山地区恒例の敬老会は、昨年9月17日、午前11時から榎山コミュニティセンターで開催されました。お招きした75歳以上の高齢者の中、男71名、女74名、計145名の方がご参加されました。



敬老会を主催する当協会の加藤俊悦会長から「秋田市社協設立60周年を迎えた

25年度の本敬老会に多数の方々からご出席いただき、心から感謝いたします。皆様の益々のご健康と長寿を祈念申し上げます。」などとお祝いのご言葉を述べました。

さらに来賓の秋田市立秋田南中学校・米澤喜彦校長、同市立築山小学校・浦野真弓校長からも祝辞を頂戴いたしました。

次いで敬老会代表として神田 武さん(榎山南中町・82歳)が登場、「敬老会に当り、至れり、尽せりのおもてなしに深く感謝申し上げます。高齢者に対し各界あげて福祉の光が注がれ、私たちは幸せいっばいです。反面「敬老」に値するだろうか」と自責の念もありました。せめてもの願いとして嫌



敬老会代表の神田 武さん

乾杯は、榎山交番所長・渡部英明氏(来賓)の発声で開宴の運びとなり、参会者同士、和やかな近況報告からスタート。

ステージ等では、歌とお遊戯(榎山保育園児)、歌とご挨拶(築山小学校1年生)、築山小竿燈クラブ、新日本舞踊(瑛念、フラダンス)プルメリア、大道芸(城南亭鶴亀)など演芸グループの皆さんが座に興を添えました。

宴席では、徐々に自席を飛び交え、談論風発の展開?となり、宴もたけなわ。やがて所定の時間、参会者一同は本年の再会を約し、懇親会も無事、お開きとなりました。

約1500名の方々に案内状

築山地区では、満75歳以上の敬老会該当者が平成20年度に1500名を超え、年々増加傾向にありましたが、23年度をピークに減少に転じ、25年度は前年度より32名減の1498名の方々に各町内会長を介して、案内状をお届けしております。

なお近年は参会者のニーズに合わせて椅子席を増設したり、榎山(大元)町内会などでタクシーをチャーターし、出席者の会場往復を送迎しているケースもあります。

介護福祉施設(市内)を見学

地区社協の視察研修

平成25年11月28日、築山地区社協では、役員、福祉協力員24人の参加により、秋田市内介護福祉施設の視察研修を実施しました。

視察先は、社会福祉法人ともしび会(添川字鶴木台)が運営する特別養護老人ホーム「光峰苑」と、シヨウトステイケアホテル「ほどの」(保野すわ町)の2施設。光峰苑には約120人が利用しておりました。光峰苑の基本理念は、①相手を敬い②相手を受け入れ③相手を見守る。①の精神は「個々の利用者の多年にわたる様々な苦勞と社会の貢献に、尊敬の気持ちを持ってはならない。心身の衰えがあっても、その人格を十分に尊重し、尊厳を損うことなく援助しなければならぬ」という崇高なものでした。



光峰苑では参加者一同、副施設長・諸岡武夫氏等から「基本理念、概況説明」などのレクチャーを受けた

築山地区

地域活動 写真で見えるまちの動き

中通地域包括支援センター幸ザ・サロン2階（築山地域も包括）で開かれた介護予防教室（おおむね65歳以上の元気な高齢者が対象）。冬期間を元気で暮らすための健康講話や、風船等の小道具を用い、筋肉ほぐしとバランス能力アップの簡単な運動。講師は、秋田大学・保健学専攻作業療法学講座の津軽谷 恵氏。築山地区も含めて約20人の住民が参加した（1月10日）



中通地域包括支援センター幸ザ・サロン2階（築山地域も包括）で開かれた介護予防教室（おおむね65歳以上の元気な高齢者が対象）。冬期間を元気で暮らすための健康講話や、風船等の小道具を用い、筋肉ほぐしとバランス能力アップの簡単な運動。講師は、秋田大学・保健学専攻作業療法学講座の津軽谷 恵氏。築山地区も含めて約20人の住民が参加した（1月10日）



築山保健推進会が開催した男性向けのクック（料理）教室。講師は秋田保健所の管理栄養士で16名が参加した。当日のメニューは鶏肉とトマトチーズ煮込みなど（昨年12月12日、於秋田市保健センター）



当社協主催の軽スポーツ大会の1コマ。「玉入れ」など文字とおりの運動競技が繰り広げられた（昨年11月11日、於榎山コミセン）



1月25日、「災害に備えた支え合いの地域づくり」をテーマに、地域での避難支援体制づくりの手引き等について、秋田市地域福祉推進室、防災安全対策課の職員による築山地区への説明会が榎山コミセンで開催された。参加者は各町内会長、当社協役員、地区民児協委員など約70名、今後のスケジュール、手順等について相互の確認がなされた

“明るいお正月”を迎えるように

25年度歳末たすけあい募金

共同募金の一環で、「歳末たすけあい運動」は毎年、築山地区共同募金会（会長・加藤俊悦）が推進しているもので、「誰もが、明るいお正月を迎えられますように」と地域住民相互の「たすけあいの心」の醸成にも大きく寄与して来しました。平成25年度は、築山地区各町内会のご尽力で、総額43万3940円の歳末募金（秋田市社協への納入分を含む）が寄せられました。

地区共同募金会では生活困窮世帯、

母子世帯（いずれも生活保護受給者を除く）、65歳以上のねたきり高齢者等の15世帯へ昨年末に、一律5千円を地区民生委員を介してお届けしたところです。生活困窮世帯とは、疾病、心身障がい、罹災、失職等により、衣食住を支える諸条件が満たされず、日常の生活を過ごすにも困っていると判定された世帯です。

地区内福祉施設、ひとり暮らし高齢者に激励見舞

築山社協では、このたすけあい募金から地域の福祉施設を対象に果物を贈呈しています。

やはり昨年12月末、母子生活支援施設の秋田婦人ホーム（榎山古川新町）、通所介護事業所の川口デイサービスセンター（榎山登町）、知的障害児入所施設の若竹学園（横森）の3施設へ、りんご2箱、みかん1箱ずつを配布して、入所（利用）者の皆さんから感謝されました。

さらには、別稿のとおり、ひとり暮らし高齢者等への激励訪問の際、お届けする煎茶の購入費もたすけあい資金からです。

高齢者を激励訪問 煎茶を謹呈

本年1月8日、築山社協では改選後の民生委員等と連携して、高齢者世帯の見守り活動を実施しました。対象者は、75歳以上のひとり暮らしの方390人、80歳以上の高齢者のみ・124世帯、ねたきり高齢者13人の世帯等です。

歳末たすけあい募金の一部を活用、予め準備した煎茶を持参して、一人ひとり安否確認をしながらの激励訪問でした。

▼7面参照II各種募金運動実績

民生委員・児童委員の一斉改選

平成25年度は、3年に1度の全国一斉の民生委員・児童委員の改選期で、12月2日、秋田市では708人が厚生労働大臣と秋田市長からの委嘱辞令伝達式が行われました。築山地区の民生

児童委員は次表のとおり、新任4名、再任20名、合わせて24名です。築山社協は、ケース・バイ・ケース、各委員とスクラムを組んで地域福祉の増進に務めることとなります。

区分	氏名	担当町内会
再任	(会長) 佐々木洋吉	榎山共和町、榎山下浜町、牛島橋通町、牛島橋通り南部
"	(副会長) 川井 精一	榎山本町下丁、榎山本町中町、榎山本横町、内木町
"	(副会長) 鈴木 夏代	榎山古川新町、榎取町、百石橋通り
"	樋渡 久孝	太田町連合町内会(本町、山水会、東部、睦会、栄町、南町、新町、旭町)
"	佐々木正次	寺小路北部、城南みなみ、榎山石塚谷地、寺小路南部
"	太田 昭夫	笹町、三枚橋町
"	妹尾 弘	榎山南新町、太平、森林管理局第一アパート
"	小松 勇	榎山石塚町、榎山石塚新町
"	澤井恵理子	築地北町、築地東上町、築地窪町、築地上本町
"	齋藤 毅	築地下本町、築地中町、築地西町、築地睦会(下東町)
"	佐藤美智子	榎山(大元町)
"	佐藤 翠	榎山本新町上丁、榎山本新町下丁、榎山上本町
"	佐藤 祐子	金照寺山、城南町
"	佐藤 義孝	愛宕下東丁、愛宕下西丁、愛宕下南丁、愛宕下北丁、愛宕下中丁
"	佐藤 秀一	登町東部、登町西部、亀ノ丁栄町、登町中央部平和会
"	瀧澤 文雄	入川橋、十軒町、米沢町
"	高橋 満男	餌刺町、九郎兵衛殿町
"	京屋 均	榎山広小路、榎山虎ノ口新町
"	根田 文子	川口境東部、若草団地
新任	石川 次男	宮田、J R宮田北自治会、イーストハイム宮田住宅
"	田村真紀子	榎山末無町、医王院前町
"	明石 信二	登町南部、川口境西部
再任	岡田 弘子	(主任児童委員) 築山地区全域を一括担当
新任	安藤美智子	(主任児童委員) 築山地区全域を一括担当

築山地区民生児童委員協議会 委員名簿 (順不同)



築山小学校の英語学習で指導する斎藤シエリー先生。同校1～4年で各クラス年間5時間、5～6年では同21時間の外国語活動が行われている。フィリピン出身2名、オーストラリア出身1名、計3名の外部講師が担当する



記念式典ステージのプレゼンテーション。合唱を披露する6年生児童(右)、ダンス「3年とうげ」を演じる3年生(上)と「おまつり」のみこしを担ぐ2年生(下)



榎山学校址の碑(榎山南中町5・旧鉦刺町の西側の位置)。明治7年に誕生、当時の生徒数は男113人、女11人、計124名だったという。校舎の規模等は記録に見えない



小正月行事「榎山かまくら祭り」が2月11日、榎山太田町の町内会館前で行われ、築山小学校児童103人が参加した。恒例の「2分の1成人式」では、4年生児童代表4人が、「将来の夢」をテーマにした作文を発表し、「保育士、サッカー選手、マンガ家、竿燈名人になりたい」などと読みあげた

地域と共に歩む 開かれた学校

築山小学校 創立130周年



校長 浦野真弓

築山小学校(榎山古川新町)は平成25年11月1日に創立130周年を迎えました。10月26日の午前、記念式典と学習発表会が、夕方からは祝賀会が行われました。式典には、ご来賓の皆様や全校児童、保護者など約1300人が参加し、節目の年を盛大に祝いました。

築山小学校の変遷と同窓生

明治7年の学制により公立校として築地下本町に築地学校、鉦刺町に榎山学校が開校し、その後明治16年11月1日に2校を統合し、榎山本新町上丁に築山小学校が設立されました。明治・大正・昭和・平成と児童数の変遷に伴って校地校舎は移転、増改築が繰り返えされ、現在の鉄筋校舎は昭和47年に

建てられ、歴史を重ねてきました。築山小学校のこれまでの卒業生は2万1089人です。在校生が一番多かった時期は、昭和34年の2319人でした。その後は減少が続く、現在はその半数の441人の児童が在籍しています。築山小学校の卒業生には、昭和初期の文部大臣・田中隆三氏や芥川賞作家の石川達三氏、そして国連事務次長で活躍された明石康氏などがおり、現在同じ築山小学校で学んでいる子どもたちにとって同窓生の活躍は誇りとするところであり、将来への夢や憧れを抱かせてくれる存在です。

創立130周年の記念事業

記念式典では、穂積志秋田市長の祝辞に続き、全校児童による呼び掛けや合唱を披露しました。児童は「いつも明るく支えてくれる地域の皆さんありがとうございます」と「これからも仲間と協力して、輝き続ける築山小学校をつくっていきます。」などと呼び掛けを行いました。それから、昔と今を映像を使って6年生が紹介し、学舎の歴史と授業風景、給食の様子などの変遷に想いを馳せたひとときでした。その他の記念事業として学校では、記念誌の発行や子育て講演会の開催、

防犯教室や音楽鑑賞教室などを実施しました。更に、記念誌の表紙に掲載した航空写真を撮影しました。学校に残っている10年前、20年前の航空写真と比較すると、学校周辺の道路や家並みが少しずつ変化してきていることがはっきりと見て取れます。

また、環境変化だけでなく、子どもたちの生活や学習内容も少しずつ変化してきています。学習発表会では、子どもたちが日頃学習している教科の内容を、昔話や創作物語に盛り込んで発表しました。今年の特徴は、秋田の自然や産業、文化の豊かさを取り入れた内容や、外国語学習や環境保全、学校の歴史を扱った発表が多くありました。

地域の優しさに育まれる活動

①築山小学校「安全ネットワーク」は、学校、警察、保護者、地域が協力連携して、子どもたちの登下校の安全と、不審者から守る目的で、平成17年6月に地域の方々によって結成されました。現在は、約百名により交代であいさつ運動や通学路での見守り、事故防止活動を行ってくださっています。

②「地域探検」や「キャリア教育」で、地域の商店や会社、幼稚園・保育園へ児童が出かけ、学習しています。低・中学年児童の見学や高学年児童の職場体験や講話に快くご協力をいただいたており感謝しております。

③「竿燈祭り」や「敬老会」など、地域行事へ参加しています。毎年、築山地区社会福祉協議会から、ご案内をい

ただいている敬老会では、1年生と竿燈クラブが演技披露の機会を得て、子どもたちの励みとなっております。

築山小学校の竿燈クラブは、平成3年より地域の方々のご協力により活動が開始されました。以後、演技やお囃子の指導には、榎山共和町竿燈会の皆様からご指導をいただいております。技術の伝承と地域文化に親しみ郷土愛が育まれる場となっております。

④「榎山かまくら」は無病息災祈願と成年式の伝統行事の一つです。4年生が2分の1成人式を地域と共に祝いする機会として参加し、地域で子どもたちが育まれる温かさを感じています。⑤「昔遊びや陸上などのクラブ」「読み聞かせ」の活動には、地域の方や保護者にご協力をいただいております。読み聞かせグループの活動は、月に2回程度、朝の読書タイムを利用して、読み聞かせ活動をして下さっています。

これからも輝き続ける学校に

子どもたちが児童会活動で話し合い、みんなで頑張りたいことをスローガンに決めて日々元気に活動をしています。「明るいあいさつ、元気、レベルアップ」が実行目標です。子どもたちの主体的な活動が根付き、校内外でみんなが元気に明るい挨拶ができる子どもに育つよう、これからも地域の皆様のご協力と応援をよろしくお願いたします。 ※編集部注 築山小学校は災害発生時、地域住民の指定避難場所になります。